

京都洛東の紅葉散策コース（歩行距離、約2km）

銀閣寺→法然院→安楽寺→真如堂→黒谷→御所西京都平安ホテル

日時、11月29日（木）13時、京都地下鉄烏丸線、今出川駅、南改札口に集合

但し、天気予報にて当日雨天と判断される場合は、翌日に順延の旨お知らせします。

参加費用：男子5,000円、女子4,000円（会員ご夫妻、女子会員友人同伴、歓迎）

ご参加を希望される方は、11月20日（火）までに、広報担当 犬伏（いぬぶし）までご連絡ください。 TEL・FAX 06-6431-2468 メール y-i@syd.odn.ne.jp

13時：TAXIに分乗して銀閣寺。庭園拝観。室町時代後期に栄えた東山文化を代表する建築と庭園。見どころ多し。



14時：銀閣寺から南行300m、法然院到着。参道を登りきると行く手に瀟洒な茅葺の山門が現われる。絵になると言おうか何とも美しい姿かたちである。山門をくぐって池を渡り、石畳の道なりに進むと本堂に至る。阿弥陀堂の散華（さんげ）は美しい—毎日早朝に阿弥陀様の前に季節の花が縦横に25ヶ並べられる。



法然院山門



法然院 阿弥陀堂 散華

14時30分：法然院から南行300m、安楽寺到着。一名、松虫鈴虫寺

後鳥羽上皇の女官であった19歳の松虫、17歳の鈴虫姉妹は今出川左大臣の娘で、容姿端麗、教養も豊富であったことから、ことさら上皇の寵愛を受けていた。しかし虚飾に充ちた御所での生活に馴染むことができなかった。1206年12月、上皇が熊野へ行幸した折、両姫は御所を抜け出し、浄土宗の当寺に帰依したため、上皇の逆鱗にふれた。両姫は流罪。剃髪をした当寺の住蓮坊、安楽坊は死罪。また、法然上人、親鸞上人も流罪に処せられた（承元の法難）。



安楽寺山門



松虫姫、鈴虫姫の供养塔

15時30分：安楽寺から西向600m、真如堂（真正極楽寺）到着。



石畳の参道の両側にカエデが大きく枝をはり紅葉のトンネルになる。奥に三重塔が見え、まるで紅葉林の中に寺があるよう。

16時30分：真如堂から南行、黒谷を経て500m天王町へ。

TAXIに分乗して御所西京都平安ホテルまで。

7時：御所西京都平安ホテル。日本庭園（およそ 500 坪）内を散策。



公家屋敷の庭園として江戸時代に造られた池泉回遊式の代表的庭園。作庭で名高い植治こと7代目小川治兵衛の手により大正11年に改築された。紅葉も美しく、庭園の中央の池には石橋が架かり滝が流れ落ち、築山をもうけ、四阿（あずまや）を配し、周辺との見事な調和を保っている。また京都名産の鞍馬石や加茂川石、白川石などが要所に使われ、これらがひとつになって景観を呈している。

アメリカの日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」では2017年のランキングで、足立美術館や桂離宮、山本亭に続き第4位と高い評価を受けている。

ライトアップ日没～22:30

17時30分：食事、平安ホテル内「帆船」

大テーブルを囲んでの個室の他、少人数のテーブルも自由に使えます。
天婦羅御膳 — 小鉢、焚合せ、天婦羅、御飯、赤出汁、香の物



19時：解散。

JR京都駅へはホテルから南行500m、地下鉄、丸太町駅→京都駅